

「五葉山の魅力」

五葉山自然倶楽部
創立10周年に寄せて

④

今から三十年ほど前、東北大学の高槻成紀先生が実施した「ニホンシカの生態調査」で、何度か五葉山を訪問した。

仙台から大船渡までの道のりは、国道45号線を利用した海岸沿いのルートであったり、一関や水沢を経由しての北上山地横断ルートであったりとさまざまだったが、どれもユニークかつ貴重な山塊とみなされている。

三陸地方の中部、太平洋を間近に臨む位置に聳(そび)える五葉山は、植物生態学あるいは植生地理学の視点からみても、ユニークかつ貴重な山塊とみなされている。

立する常緑針葉樹林、ガシラの生息数と利用場所のセンサス。この調査ではトランシーバーと地形図を携行して、割り当てられたエリア内を蛇行しながら、一定のスピードで下山することが求められていた。

「シカの生息数と利用場所のセンサス」。この調査ではトランシーバーと地形図を携行して、割り当てられたエリア内を蛇行しながら、一定のスピードで下山することが求められていた。

山を歩きながら、こうしたスリリングな体験を通じて、自分の未熟さや弱さ、自然の怖さや奥深さを知り、「ヒトが生きていくための知恵や技、力強さ、謙虚さを感じとった若い日のことを懐かしく思い出した。

【執筆者プロフィール】
宮城県仙台市在住。五十歳。植物生態学を学び始めた一九八〇年代前半、ニホンシカの調査で五葉山に通う。近年、モミヤアカマツ、ブナ、コナラ、ゲヤキなどの巨木が混生する自然林の地理的変容を明らかにすべく、三陸地域を踏査中。東北学院大学教養学部教授。

「森と人から学んだこと」

宮城県仙台市

平吹 喜彦

太古からの侵食を受けた北上山地が創り出したリアス海岸や溪谷、準高原、そして圧倒的ともいえる海の碧、森の緑の内に存在する人々の暮らしの営み。それらの美しさ、神々しさ、愛おしさに、すっかり魅了されていた。

三陸地方の中部、太平洋を間近に臨む位置に聳(そび)える五葉山は、植物生態学あるいは植生地理学の視点からみても、ユニークかつ貴重な山塊とみなされている。

立する常緑針葉樹林、ガシラの生息数と利用場所のセンサス。この調査ではトランシーバーと地形図を携行して、割り当てられたエリア内を蛇行しながら、一定のスピードで下山することが求められていた。

「シカの生息数と利用場所のセンサス」。この調査ではトランシーバーと地形図を携行して、割り当てられたエリア内を蛇行しながら、一定のスピードで下山することが求められていた。

山を歩きながら、こうしたスリリングな体験を通じて、自分の未熟さや弱さ、自然の怖さや奥深さを知り、「ヒトが生きていくための知恵や技、力強さ、謙虚さを感じとった若い日のことを懐かしく思い出した。

【執筆者プロフィール】
宮城県仙台市在住。五十歳。植物生態学を学び始めた一九八〇年代前半、ニホンシカの調査で五葉山に通う。近年、モミヤアカマツ、ブナ、コナラ、ゲヤキなどの巨木が混生する自然林の地理的変容を明らかにすべく、三陸地域を踏査中。東北学院大学教養学部教授。

山を歩きながら、こうしたスリリングな体験を通じて、自分の未熟さや弱さ、自然の怖さや奥深さを知り、「ヒトが生きていくための知恵や技、力強さ、謙虚さを感じとった若い日のことを懐かしく思い出した。

太古からの侵食を受けた北上山地が創り出したリアス海岸や溪谷、準高原、そして圧倒的ともいえる海の碧、森の緑の内に存在する人々の暮らしの営み。それらの美しさ、神々しさ、愛おしさに、すっかり魅了されていた。

三陸地方の中部、太平洋を間近に臨む位置に聳(そび)える五葉山は、植物生態学あるいは植生地理学の視点からみても、ユニークかつ貴重な山塊とみなされている。

立する常緑針葉樹林、ガシラの生息数と利用場所のセンサス。この調査ではトランシーバーと地形図を携行して、割り当てられたエリア内を蛇行しながら、一定のスピードで下山することが求められていた。

「シカの生息数と利用場所のセンサス」。この調査ではトランシーバーと地形図を携行して、割り当てられたエリア内を蛇行しながら、一定のスピードで下山することが求められていた。

山を歩きながら、こうしたスリリングな体験を通じて、自分の未熟さや弱さ、自然の怖さや奥深さを知り、「ヒトが生きていくための知恵や技、力強さ、謙虚さを感じとった若い日のことを懐かしく思い出した。

【執筆者プロフィール】
宮城県仙台市在住。五十歳。植物生態学を学び始めた一九八〇年代前半、ニホンシカの調査で五葉山に通う。近年、モミヤアカマツ、ブナ、コナラ、ゲヤキなどの巨木が混生する自然林の地理的変容を明らかにすべく、三陸地域を踏査中。東北学院大学教養学部教授。

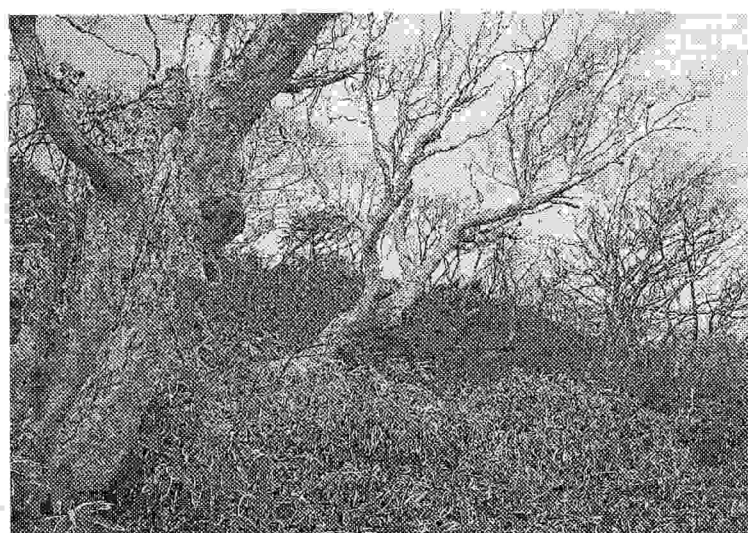
山を歩きながら、こうしたスリリングな体験を通じて、自分の未熟さや弱さ、自然の怖さや奥深さを知り、「ヒトが生きていくための知恵や技、力強さ、謙虚さを感じとった若い日のことを懐かしく思い出した。



高槻先生の調査で訪れた五葉山では、いつも思いもよらぬ出来事に遭遇した。たとえば、見通し

あるいは、猟友会の

先日、久しぶりに五葉



シャクナゲ山荘付近のミヤコザサと風衝木